

(参考3) 技術開発の展望

品目	10年後（H37年）の技術開発の目標
水 稲	<ul style="list-style-type: none"> ○極良食味米のブランド米化に向けた高度に安定した食味を持つ品種の開発 ○用途（業務用米、もち米、酒米）に応じた多収品種と直播栽培向け品種の開発 ○非主食用米（飼料用米、米粉用米）品種の選定とコスト指標策定 ○極良食味米栽培技術、多収栽培技術、省力・コスト低減・軽労化技術（水稻直播など）、転換畑における栽培技術や地下水位制御技術の開発など、水田高度利用に対応した水田・転作作物生産技術体系の確立
小 麦 ・ 二条大麦	<ul style="list-style-type: none"> ○めんやパン、菓子の加工適性に優れた病害・障害に強い多収小麦品種の開発 ○用途別品質及び加工適性評価法の開発と原料品質指標の策定 ○二条大麦優良品種の選定 ○施肥法改善による安定生産栽培技術とセンシング技術や気象情報等を活用した生産管理支援システムの確立
大 豆	<ul style="list-style-type: none"> ○豆腐や煮豆など加工適性に優れた病害・障害に強い多収大豆品種の開発 ○豆腐加工適性や機能性成分等の品質表示に向けた評価法の開発 ○低コスト生産システムや安定生産栽培技術（狭畦、不耕起栽培等）の確立
小 豆 ・ いんげん	<ul style="list-style-type: none"> ○製あんや煮豆など加工適性に優れた病害・障害に強い多収品種の開発 ○新たな品質評価手法、用途に応じた適性評価法とその簡易的評価法の開発 ○低コスト生産システム（高能率収穫、総合的雑草防除）の確立
そ ば	<ul style="list-style-type: none"> ○高品質で多収な品種の選定 ○安定多収で高品質な栽培技術の確立
て ん 菜	<ul style="list-style-type: none"> ○糖分含量が高く、病害・障害に強い品種の選定 ○作物の栽培履歴を活用した安定生産技術の確立
馬鈴しょ	<ul style="list-style-type: none"> ○ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性品種の開発と防除対策の確立 ○加工適性（でん粉用、油加工用、業務加工用）や生食用途に優れた病虫害に強い多収品種の開発と選定 ○加工用・生食用馬鈴しょの周年供給を目指した長期貯蔵技術の開発 ○施肥管理による加工用馬鈴しょの多収技術の確立 ○高能率、省力的な馬鈴しょ安定生産技術の確立
野 菜	<ul style="list-style-type: none"> ○長期収穫に対応した多収性いちご品種の開発 ○北海道ブランドの確立に向けた加工・業務用野菜品種の特性評価 ○主要野菜の品質向上法の確立 ○主要野菜の省力・安定生産技術の確立 ○露地野菜の機械化収穫体系に対応した栽培技術の開発 ○高付加価値を目指した鮮度保持技術の開発 ○気候変動下でも安定生産できる高度な環境管理型施設の利用技術の開発

品 目	10 年 後 (H37年) の 技 術 開 発 の 目 標
果 樹	<ul style="list-style-type: none"> ○おうとうの寒冷地向き品種の開発 ○本道に適した果樹品種の選定 ○果樹の高品質安定生産技術の確立 ○道産果実における新規加工技術の品目拡大と加工用果実の安定生産技術の開発 ○果樹栽培作業の省力・軽労化技術の開発
飼料作物	<ul style="list-style-type: none"> ○土壌凍結、多湿・冷涼気象など不良条件においても安定多収で高品質な牧草・飼料作物品種の開発と選定 ○草地の植生改善技術の開発 ○高タンパク自給飼料の選定と生産・利用技術の開発 ○飼料用麦類等を用いた単収向上技術の開発 ○GIS技術を活用した飼料生産基盤の効率的な管理技術の開発 ○新たな自給飼料資源の飼料成分の推定法の開発と飼料給与メニューの策定
乳 用 牛	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模放牧地を利用した低コスト乳牛飼養管理技術の確立 ○周産期疾病の低減と泌乳持続性向上を図る飼養改善技術の確立 ○乳牛の潜在的な受胎性向上技術及び繁殖障害牛の治療技術の確立 ○乳牛感染症及び人獣共通感染症の診断・予防技術の確立 ○労働負担の軽減に資する精密飼養管理システムの確立
肉 用 牛	<ul style="list-style-type: none"> ○早期能力評価法及び効率的増殖技術を採用した肉牛生産技術の開発 ○TMR給与をベースとする育成・肥育技術の開発 ○自給飼料を活用した早期育成・早期肥育技術の開発 ○肉用牛感染症及び人獣共通感染症の診断・予防技術の確立
豚 ・ 鶏	<ul style="list-style-type: none"> ○優良系統豚の維持年限延長技術の確立 ○分娩・ほ乳時の子豚損耗低減技術及び繁殖雌豚の連産性向上技術の確立 ○地鶏種鶏の種卵生産持続性改善技術の開発と冬期管理技術の確立 ○豚感染症及び人獣共通感染症の診断・予防技術の確立
ク リ ー ン 農 業 ・ 有 機 農 業	<ul style="list-style-type: none"> ○農薬の作物残留軽減対策やカドミウム等重金属の作物蓄積防止対策による有害物質を蓄積させない安全な農産物生産技術の高度化 ○総合的病害虫・雑草管理（IPM）や難防除病害虫の防除対策技術、化学合成農薬削減技術の高度化などによる減農薬栽培技術の開発と体系化 ○メッシュ気象情報やセンサ情報を活用した病害虫発生予察及び効率的施肥法等の各種生産支援システムの開発 ○有機農業を支援する緑肥等による地力窒素向上技術や総合的病害虫・雑草管理（IPM）技術の体系化 ○農業に由来する環境影響の評価とモニタリング（地力実態の長期観測）や有機質資源の利活用に関する技術など、農地の生産環境保全技術の開発